

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

建築工事に於いて、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用 促進率 + + ----- (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十	搬出先の種類 コード *13	受入地の用途 コード *14	現場外搬出量	うち現場内改良分		再生資源利用促進量 (注2)
		用途 コード *10	利用量	減量法 コード *11	減量化量												
特定建設副産物	コンクリート塊		トン	トン		搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
	建設発生木材 (木材が廃棄物になったもの)		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
	アスファルト コンクリート塊		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設副産物	建設発生木材 (伐木材、除根材など)		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
	建設汚泥		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
	建設混合廃棄物		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
	金属くず		トン			搬出先1	公共	民間			km			トン		トン	%
	廃プラスチック		トン			搬出先1	公共	民間			km			トン		トン	%
	紙くず		トン		トン	搬出先1	公共	民間			km			トン		トン	%
	アスベスト (飛散性)		トン			搬出先1	公共	民間			km			トン		トン	%
	その他の分別された廃棄物		トン			搬出先1	公共	民間			km			トン		トン	%
	建設発生土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%
第一種建設発生土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	
第二種建設発生土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	
第三種建設発生土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	
第四種建設発生土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	
浚渫土		地山 ³	地山 ³	地山 ³	搬出先1	公共	民間			km			地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	
合計		地山 ³	地山 ³	地山 ³									地山 ³	地山 ³	地山 ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸・公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類
(コード*13)が1.~5.の合計